

精神科神経科

1. 【一般目標(GIO)】

医師として全人的に患者を診療するために、医師としての基本的な姿勢を身につけ、精神疾患診療に必要な知識、技術を修得するとともに、包括的な一般精神科診療を実践できる。

2. 【行動目標(SBOs)】

- | | |
|---|--|
| 1 | 医師として必要な人間性を身につけ、患者および患者家族との信頼関係を築き、適切に対応する能力を修得する |
| 2 | 精神科診療に関する基本的知識を身につける |
| 3 | 精神科療法（薬物療法・精神療法）の種類を理解し、患者に必要な情報提供ができる |
| 4 | 精神疾患の診断に必要な検査を選択し、適応の有無の判断力を修得する |
| 5 | 精神疾患患者を主治医とともに担当し、適切な診療プロセスを修得実践する |
| 6 | 精神療法、薬物療法、電気けいれん療法に関する検査、手技を経験し、習熟する |
| 7 | 精神科臨床に必要な外来診療能力、全身管理能力を修得する |
| 8 | メディカルスタッフスタッフと協力してチーム医療を実践できる |

3. 【方略】

	【対応するSBOs】
1 精神科入院患者の担当医として、主治医である指導医とともに診療にあたる	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8
2 病棟カンファランスに参加し、精神科臨床一般の理解を深める	4, 8
3 問診、診察、検査結果の解釈、鑑別診断、担当患者の診療計画立案、治療法について修得する	4, 5
4 指導医とともに、新患外来・リエゾン診察に対応する	1, 3, 4, 5, 7, 8
5 精神療法・薬物療法、電気けいれん療法の補助を行う	6
6 回診・カンファレンスに参加し、発表、討論を行う	2, 3, 4, 8
7 学会や研究会に積極的に参加し、症例報告や研究発表を行う	2, 3

4. 【評価】

①研修医に対する評価

項目	評価者	時期	評価方法	【対応するSBOs】
担当した入院患者の疾患と患者数	自己・指導医	患者退院時又は研修終了時	退院サマリーのチェック	4, 5
診療態度	自己・指導医 メディカルスタッフ	研修中旬、研修終了時	フィードバックシート	1, 3, 8
関連手技	自己・指導医	毎週	口頭でのフィードバック	6, 7
カンファレンスでの症例提示	自己・指導医 メディカルスタッフ	毎週	口頭でのフィードバック	2, 3, 4, 8
学会発表・論文発表	自己・指導医	毎週	学会発表・論文発表	2, 3

②当該科に対する評価

項目	評価者	時期	評価方法
研修医からの当該科への評価	研修医	研修終了時	医療開発センターの診療科への評価表で行う

③指導医に対する評価

項目	評価者	時期	評価方法
研修医からの指導医への評価	研修医	研修終了時	医療開発センターの診療科への評価表で行う

5. 【週間スケジュール】

	月	火	水	木	金
午前	病棟カンファレンス 治療（修正型電気痙攣療法） 治療（経頭蓋磁気刺激療法） 新患外来 作業療法 リエゾン診察	病棟カンファレンス 治療（修正型電気痙攣療法） 治療（経頭蓋磁気刺激療法） 新患外来 作業療法 リエゾン診察	病棟カンファレンス 回診前カンファレンス 治療（経頭蓋磁気刺激療法）	病棟カンファレンス 治療（修正型電気痙攣療法） 治療（経頭蓋磁気刺激療法） 新患外来 作業療法 リエゾン診察	病棟カンファレンス 治療（修正型電気痙攣療法） 治療（経頭蓋磁気刺激療法） 新患外来 作業療法 リエゾン診察 回診
午後	外来新患カンファレンス リエゾンカンファレンス 作業療法 リエゾン診察 連絡会	病棟業務 作業療法 リエゾン診察	緩和ケアチームカンファレンス リエゾンチーム回診 抄読会 症例発表会	病棟業務 作業療法 リエゾン診察	病棟業務 作業療法 リエゾン診察 週間振り返り

6. 研修医の事前準備

標準精神医学などの教科書をおさらいすること

7. 【研修指導体制】

研修責任者： 熊崎博一

指導 医： 田山達之、大橋愛子、岩永健、冠地信和、山本直毅の計5名のスタッフが指導にあたる

ディカルスタッフ 病棟看護師長、病棟主任看護師

8. 【緊急連絡先】

精神科病棟業務マニュアル参照